

**憲法しんぶん 速報版**  
 発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007  
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2021年2月15日(月)

NO. 1142号

本号3頁

# 歴史に学び憲法が生きる 日本と世界を切り拓く 「建国記念の日」反対 2021年 2・11集会

11日、オンラインで「建国記念の日」反対集会が開催されました。毎年、日本橋公会堂で開催して来ましたが、コロナ感染拡大のなかで、オンラインで開催されました。講師らが全労連会館の会議室に集い、講演・報告し、全国のウェビナーでの参加申込者に配信するとともに、ユーチューブで同時配信もされました。ウェビナー参加者とユーチューブ視聴者、そして会場参加者合わせて約200人が参加しました。

午後1時半から、歴史科学協議会の佐々木啓氏の司会で始まりました。冒頭、東京歴史科学研究会の大橋幸泰氏が、「建国記念の日」が設定された歴史を振り返り、開会あいさつを行いました。

そして、二つの講演が行われました。

「植民地主義を問い直す」とのテーマで、木畑洋一氏（東京大学名誉教授）が講演。木畑氏は、「植民地を問い直す」として、世界各地での運動や事件に触れ、多くの植民地が独立したが、なお残された地域があり、過去の支配は現在にも影を落としていると指摘。植民地犯罪の責任追及も不十分で、「慰安婦」や徴用工問題など、支配した側と支配された側に歴史認識の差があると述べ、植民地主義を不断に問い直して行こうと語りました。

次に、「菅政権による憲法改悪と日本学術会議会員任命拒否問題」とのテーマで、小森陽一（東京大学名誉教授）が講演。小森氏は、日本学術会議会員の任命を菅政権が拒否し人事介入したことは、「学問の自由」を謳った憲法に反し国民主権にも反すると指摘。「戦争する国づくりに反対する学者を狙い撃ちにした。市民と野党の共闘に学者が加わることをつぶそうとしている。安倍政権の改憲路線を継承することを、菅政権は出点であらわにした」と批判。政権交代で菅首相の「人事独裁体制」を倒そうと呼びかけました。



休憩後、3名の方がリレートーク。

- ① 福島原発訴訟弁護士久保木亮介氏が、「二つの高裁判決と原発事故賠償問題のこれから」とのテーマで報告。生業訴訟の仙台高裁の判決と群馬訴訟の東京高裁での判決の全く相反する二つの高裁判決を報告。そして、「3・11から10年目、責任をあいまいにすれば必ずまたは事故は起こる、最高裁での勝利目指して頑張る」と決意を語りました。
- ② 日本原水協事務局長安井正和氏が「核兵器禁止条約の発効と日本の課題」とのテーマで報告。冒頭、安倍改憲を継承する菅改憲の危険性を指摘。そして、1月22日に世界の市民の奮闘で核兵器の開発、保有、使用を禁じる核兵器禁止条約が発効したことを報告し、課題として「条約には核保有国とともに、核抑止力に依存する日本が参加しておらず、参加に向けたさらなる奮闘が求められる」と語りました。
- ③ 西東京朝鮮第一初中級学校長 申(シン) 俊(ジュン) 植(シ)氏が、「コロナ禍での朝鮮学校の現状について」とのテーマで報告。創立75年を迎える朝鮮学校の歴史と、子どもたちが元気に学んでいるようすなどを報告。そして、さいたま市ではコロナ感染防止のためのマスク配布が埼玉朝鮮初

中級学校の付属幼稚園が除外されたり、さらに朝鮮学校の高校や幼児教育・保育の無償化から外れたことなどの差別の実態とともに、一方で多くの支援者に支えられていると語りました。

最後に、「誠実な歴史認識の向こうにアジアと世界の平和を見据えつつ、憲法の理念が生きる社会をつくろう」と呼びかける集会アピールを採択しました。

## 憲法会議のホームページに録画・レジメ等を掲載しています

歴史に学び憲法が生きる日本と世界を切り拓く「建国記念の日」反対 2021年 2・11集会

<講演> 植民地主義を問い直す 木畑洋一（東京大学名誉教授） レジメ

<講演> 菅政権による憲法改悪と日本学術会議会員任命拒否問題

小森陽一（東京大学名誉教授） レジメ

<リレートーク> 二つの高裁判決と原発事故賠償問題のこれから

福島原発訴訟弁護士 久保木亮介 レジメ

資料1 日歴協 2021「建国記念の日」に関する声明

資料2 2・11集会アピール案

○以下のURLでYoutubeで配信しますので、ご覧ください。 リンクあり

<https://youtu.be/atpfJAgmqUs>

## 大阪 第55回「建国記念の日」不承認大阪府民の集いを開催

大阪市で第55回「建国記念の日」不承認大阪府民の集いが11日、開催されました。主催は「建国記念の日」反対大阪連絡会。コロナ禍で定員制限した中で114人が参加しました。

バイオリンの吉矢千鶴さんとピアノの深堀安希子さんが3曲を演奏、「今こそ文化をみんなでつくりたい」と語りました。

京都橘大学教授で自治体問題研究所理事長の岡田和弘さんが「大阪市廃止を止めた力で大阪の再生を」と題して講演しました。なぜ、維新の会は、コロナ禍においてもここまで大阪市・大阪府の統合にこだわるのかを、「大阪都」構想をめぐる歴史的背景、経済的要因を探るところから丁寧に説明。グローバリズム・大企業の成長戦略に奉仕する維新政治からの大転換が必要で、コロナ禍の名が住民の命と暮らしを守るには工夫しながら、主体的な運動を広げることが解決の道だと語りました。

神戸女学院大学准教授の景山佳代子さんが「民主主義を実践するには複数の人の意見と事実、自分自身の意見と何度も照らし合わせる必要がある。学問も民主主義もそのプロセスがとにかく面倒。だからこそお互いの声に耳を澄ますべきだ」と述べ、菅政権による日本学術会議への介入を批判する意見を発表しました。

## 徳島 「建国記念の日」に反対し、学問の自由を守る2・11集会を開催

徳島県歴史教育者協議会などで構成する実行委員会は11日、徳島市内で「建国記念の日」に反対し、学問の自由を守る2・11集会を開きました。

井内哲也実行委員長は基調報告で「虚構の『建国神話』に基づいた『紀元節』に象徴される国体思想によって、戦争へと突き進んだ」と強調。戦前、学問の自由が奪われ学者が戦争体制に組み込まれた経過を示し「この歴史を繰り返してはならない」と訴えました。

記念講演に立った横山良神戸大学教授は「学問の自由が奪われる時代は、戦争とテロを招く」と警告。「学術会議会員の任命拒否問題は安倍、菅政権の強権政治と、軍事研究拒否への自民党政権の積年の敵意の表れだ」と述べ、学術会議に対する政府・自民党からの攻撃の歴史を紹介しました。そして、「学問は空気のように人間の命と暮らしにつながっている。学問の自由は空気の危険を知らせる『炭鉱のカナリア』だ。カナリアを育てるのは国民だ」と呼びかけました。

## 総務省発表、首相長男側と会食12回 交通費・贈答品も受領

衆院予算委員会は12日午前、2021年度予算案に関する一般質疑を実施しました。総務省は、菅首相の長男らによる接待が報じられた幹部4人が長男側と会食した回数について、現時点の調査で16

年から延べ12回に及ぶと説明。昨年12月に集中した直近の会食では、いずれもタクシーチケットと贈答品を受け取っていたとも明らかにしました。

会食費用を負担していたかどうかや、贈答品などを含む金額はいずれも「精査中」として回答を避けました。会食は谷脇康彦総務審議官が3回、吉田真人総務審議官2回、放送行政を所管する情報流通行政局の秋本芳徳局長4回、湯本博信官房審議官3回でした

首相の長男が勤務する放送事業会社「東北新社」の子会社は、総務省から衛星基幹放送事業者の認定を受けています。直近の会食では長男と子会社社長が同席。昨年12月は衛星放送の更新時期で、放送行政などを所管する幹部が直前に接待を受けていました。

野党は谷脇、吉田両氏の予算委員会への出席を求めましたが、与党は拒否しています。

## ご案内

## 2021年春の憲法講座

### —9 条改憲阻止、生かそう憲法 暮らしに政治に！—

昨年も国民は、憲法審査会での改憲案の提示・改憲論議を許しませんでした。しかし、菅首相は安倍政治と安倍改憲を継承するとして、挙党体制と野党分断で改憲を強行しようとしています。それに向けて、今国会では、国民投票法改正案の成立を狙っています。

また、菅政権は憲法、日本学術会議法に反する日本学術会議会員任命拒否を行い、さらに、憲法・国際法違反の先制攻撃となる敵基地攻撃能力の保有の検討を進めています。

このようなもとの、幅広く市民に呼びかけ、改めて菅改憲と、これらの問題の危険性を学び、菅政権打倒、市民と野党の連合政権実現に向けたたたかひの展望を確かめ合う場として、憲法講座を開催します。

今回はコロナ感染拡大のなかで、参加者を80人と限定し、実施します。ご参加ください。

○講座・講演

#### 小沢隆一 東京慈恵会医科大学教授

「アベ・スガ改憲を許さず、憲法が生きる社会の実現を」



○国会報告

#### 赤嶺政賢 日本共産党衆議院議員

「菅政権下の204 通常国会—コロナ・沖縄・憲法—」



◇とき 2021年3月21日(日) 午前10時00分～12時15分

◇ところ 全労連会館 文京区湯島2丁目4-4 TEL03-5842-5610

御茶ノ水駅から直線距離で435m

◇資料代 1000円(学生500円) 当日会場で

主催 憲法会議(憲法改悪阻止各界連絡会議)

協賛 神奈川憲法会議/埼玉憲法会議/千葉県憲法会議/東京憲法会議

**\*参加者を80名に限定。** 下記へお申し込みをお願いします。

(定員になり次第、ホームページでお知らせします。また、同時配信します。)

URL、QRコードは、後日、憲法会議のホームページに掲載します。)

◆申し込み・連絡先◆

憲法会議 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-32 金子ビル103

TEL:03-3261-9007 FAX:03-3261-5453 Eメール: mail@kenpoukaigi.gr.jp

◆受講申し込みにあたっては、氏名、住所、電話、FAX、メールアドレスをお伝えください。